

- 社会科 (歴史的分野)
- 単元名 江戸時代の文化と学問 (4時間扱い)
- ねらい 教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。

○江戸時代の文化

1
時
間
目

【主な学習活動】

- ・資料を活用し、元禄・化政文化の特色について調べる。

【主な発問】

- ・元禄・化政文化と中世の文化との違いは何だろう。

【指導上の留意事項】

- ・中世の文化との比較から、町人中心の文化が発達した要因を理解させる。

○化政文化が栄えた時期に活躍した郷土ひろしまの文化人

「郷土ひろしまの歴史 I」P. 38～41 を活用

2
時
間
目

【主な学習活動】

- ・菅茶山と頼山陽が残した功績について調べる。
- ・菅茶山と頼山陽がどのような人物であったかをまとめる。

【主な発問】

- ・菅茶山は神辺に廉塾を開いて、何を伝えたかったのだろう。
- ・なぜ、頼山陽は日本外史を書いたのだろう。

【指導上の留意事項】

- ・2人の功績の共通点に着目させ、教育の振興や学問の発展に尽力した理由を考えさせ、自分の言葉でまとめさせる。



- 広島県にゆかりのある菅茶山と頼山陽は全国的に有名な文化人だったんだ。
- 廉塾の他にも塾や学校はあったのかな。
- 江戸時代の学問は、他には何があったのかな。

○江戸時代の学問と学校

3
時
間
目

【主な学習活動】

- ・儒学(朱子学)、国学、蘭学について理解する。
- ・江戸時代の学校について理解する。

【主な発問】

- ・国学や蘭学はどのような影響をおよぼしたのだろう。
- ・なぜ、藩校や寺子屋が各地に作られたのだろう。

【指導上の留意事項】

- ・国学や蘭学が与えた影響を倒幕と関連付けて理解させる。
- ・各地に藩校や寺子屋が作られた理由を、社会状況と関連付けて理解させる。

○身近な地域の学問や文化人

4
時
間
目

【主な学習活動】

- ・調査を通して、身近な地域の塾や寺子屋、文化人についてまとめる。

【主な発問】

- ・元禄、化政文化の時期に身近な地域で活躍した文化人や作られた学校を調べよう。

【指導上の留意事項】

- ・資料館やHP等を活用し、適切な資料を収集させる。